

令和7年度 第一学童クラブ ぽーしゃな事業報告書

1. 学童クラブの運営

1) 定員 40名(1・2年生)

2) 月別入所児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2年生	27	26	25	27	26	25	24	25	24	24	24	25	302

3) 職員数

令和7年度初 4名

令和7年度末 4名

4) 職員の採用、退職

無

5) 職員会議の開催状況

- 職員会議は毎月一回開催し、日常の保育の様子や気づいた事・伝達事項・行事計画等について話し合い、評価、反省等を保育の見直しや実践に生かした。更に会議録を作成し、全職員に会議内容を通達した。
- 毎日の伝達は口頭の申し送りや職員連絡ノートを活用し、情報を共有した。

6) 自己評価表 別紙

2. クラブの学童保育の実施状況

1) 指導目標

家庭との連携を図りつつ、放課後及び長期休暇期間における、児童の自主的学習及び遊びを通して、健全な育成を目指した。それにより、宿題を終わらせてから遊ぶといった流れができた。また、遊ぶ仲間が同学年から違学年と広がり、思いやりや助け合いの精神が見受けられた。

2) 学童保育時間

平日	14：00(下校迎え時間)～19：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
土曜日	8：00～19：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
長期休暇期間	8：00～19：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
早朝	7：30～8：00	(ルンビニ保育園、事前申し込みが必要)
延長時間	19：00～21：00	(ルンビニ保育園にて)

3) 学童保育内容

- 宿題に主体的に取り組めるように声掛けし、自力で解けない課題については、理解しやすい言葉で説明を行い、意欲的に学習できるように支援した。
- 年間22回のE C C英語教室と、年間10回のいむら体育教室を実施した。
- 「なかよし」通信を毎月発行、ホームページを随時更新し、児童の現状と学童の活動内容を保護者に周知した。
- 遊びや日々の生活を通して、集団生活に必要なルールを学び、安定した人間関係を作る事ができる様に支援した。その結果、遊ぶ順番を決めて、時間になったら交替する事ができ、高学年が上手に低学年に声かけをしていた。
- 送迎バス利用の際はシートベルトの着用徹底、乗車のルールを守るよう指導した。シートベルト着用は、徹底できたが、乗車中の話し声が大きくなる時があり、その都度注意することがあった。
- グラウンドや針尾体育室を利用して、伸び伸びと体を動かして遊ぶことが出来た。
- 熱中症予防対策の為「健康カード」に朝食内容の記入欄を設け児童の健康状態を確認し、暑さ指数(WBGT)が28度を超えた場合は、屋外活動を控えた。
- 食育の一環として、大根を栽培し、収穫の喜びを体験することができた。
- 親子遠足を実施し、第一・第二合わせて12名の保護者に参加してもらい、学童での児童の様子や友達との関わり方を見てもらった。また、保護者同士 知り合う機会がくれた。
- 針尾小学校の児童は送迎バスを利用し、安全に帰って来ることができた。

4) 実施した主な行事 別紙

3. 給食等の実施状況

- 偏った献立にならないよう、川棚給食センターに依頼した。苦手なおかずは多少減らす事はあったが、完食できた。
- アレルギーがある児童には、家庭との連絡を密にし、除去食の提供をした。
- 衛生面からテーブルの消毒を行い、手洗いをした。

4. 健康管理

- 指導員全員の定期健康診断を、5月に実施した。
- 指導員全員の検便を月1回専門業者に依頼し「赤痢菌、サルモネラ菌、O-157」の検査を実施した。
- 子ども達の、帰着後・食事前の手洗い・消毒の指導をした。

5. 感染症等の対策

- 室内では常時換気をし、ストリーマー空気清浄機を使用した。
- 児童の「健康カード」を作成し、受け入れ時、昼食前に検温を行い健康状態の把握に努めた。
- 体調不良の児童は、保護者に連絡して早めのお迎えをお願いした。
- インフルエンザやコロナなどの感染症の流行は見られなかった。

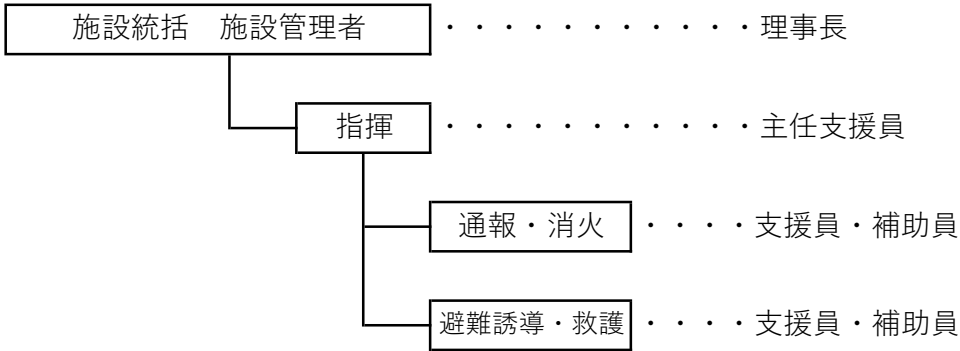
6. 非常災害危険防止の実施状況

- 年に10回、避難訓練を実施。11月に全職員参加の消火訓練を行った。
- 隣接する保育園の避難訓練にも参加し、非常階段を使った避難の仕方、又

お	おさない。
か	かけない。
し	しゃべらない。
も	もどらない。

の避難訓練の基本を学び、回を重ねるごとに迅速に行動できるようになったが、私語が多く真剣に取り組めない時もあった為、避難訓練と命の大切さを伝えた。

- 非常災害に対する職員配置（第一・第二 合同）



7. 子どもや保護者等からの要望・苦情等

- 学校の下校時間にお迎えが遅れ、1年生児童が自宅に帰っていた。
対応・・・当日は、父親が在宅中で大事に至らなかったが、事件・事故に巻き込まれる可能性もあるので、下校時間に間に合わない場合は、学校に連絡し、児童に待つように伝えてもらい、安全の確保に努めるようにした。
- 年上の児童から暴言を言われて怖かったと聞いたので、心配している。
対応・・・全児童に乱暴な言動をしないよう指導し、日頃から褒める声掛けをして児童の暴言がなくなるよう支援した。
その後は、子ども同士のケンカの際に暴言が出ることはあるが、全体的には少なくなった。保護者から心配しているという相談は無かった。

令和7年度 第二学童クラブ ぽーしゃな事業報告書

1. 学童クラブの運営

1) 定員 40名（3・4・5年生）

2) 月別入所児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
3・4・5年生	26	25	24	24	25	24	18	18	16	16	16	16	248

3) 職員数

令和7年度初 4名

令和7年度末 4名

4) 職員の採用、異動、退職

①採用

氏名	年月日	資格	備考
	R7.5.1	無	補助員
	R8.1.17	無	補助員

②退職

氏名	年月日	資格	備考
	R7.8.16	無	補助員
	R7.9.26	無	補助員
	R8.3.31	有	支援員

5) 職員会議の開催状況

- 職員会議は毎月一回開催し、日常の保育の様子や気づいた事・伝達事項・行事計画等について話し合い、評価、反省等を保育の見直しや実践に生かした。更に会議録を作成し、全職員に会議内容を通達した。
- 毎日の伝達は口頭の申し送りや職員連絡ノートを活用し、情報を共有した。

6) 自己評価表

別紙

2. クラブの学童保育の実施状況

1) 指導目標

家庭との連携を図りつつ、放課後及び長期休暇期間における、児童の自主的学習及び遊びを通して、健全な育成を目指した。それにより、毎日勉強（宿題・自学）をする習慣が身についてきた。また、遊びの中で時々ケンカもあるが、その中で相手を思いやる気持ち等が徐々に身についてきた。

2) 学童保育時間

平日	14：00(下校迎え時間)～18：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
土曜日	8：00～18：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
長期休暇期間	8：00～18：00	(ルンビニ保育園下車の方は19：00まで)
早朝	7：30～ 8：00	(ルンビニ保育園、事前申し込みが必要)
延長時間	18：00～18：30	(ぼーしゃなにて)

3) 学童保育内容

- 宿題に主体的に取り組めるよな声掛けを行い、自力で解けない課題については、理解しやすい言葉で説明し、児童が意欲的に学習できるように支援した。
- 年間22回のE C C英語教室と、年間10回のいむら体育教室を実施した。
- 「なかよし」通信を毎月発行、ホームページを随時更新し、児童の現状と学童の活動内容を保護者に周知した。
- 送迎バス利用の際はシートベルトの着用徹底、乗車のルールを守るよう指導した。
- 針尾体育室の利用や、戸外での遊びを通して、安定した友人関係の構築や、体を動かす楽しさを体験する機会を増やした。
- 乱暴な言葉遣いの児童には、もっと優しく話すように指導し、落ち着いて行動する習慣が身に着くような声掛けを行った。ケンカした時などに暴言が出ることもあるが、その都度 注意・指導すると共に、全体注意をするなどして、暴言が減少してきた。
- 熱中症予防対策の為「健康カード」に朝食内容の記入欄を設け児童の健康状態を確認し、暑さ指数(WBGT)が28度を超えた場合は、屋外活動を控えた。
- 食育の一環として、大根を栽培し、収穫の喜びを体験することができた。
- 親子遠足を実施し、第一・第二学童合わせて12名の保護者に参加して頂いた。学童での児童の様子や人間関係を見てもらったり、保護者同士や職員とのコミュニケーションを取りやすい環境をつくった。参加して頂いた保護者からは、“楽しかった！また参加したい！”等、喜んで頂いた。
- 今年度から、針尾小学校の児童も送迎バスでお迎えをしており、安全面・熱中症対策等に繋がっている。

4) 実施した主な行事

別紙

3. 給食等の実施状況

- 偏った献立にならないよう、川棚給食センターに依頼した。
- アレルギーがある児童はいなかったが、好き嫌いの偏りがある児童がいるので、嫌いなものでも少しは食べるようにさせており、少しずつだが嫌いなものを食べれるようになってきた。
- 衛生面からテーブルの消毒を行い、手洗いの指導をした。

4. 健康管理

- 職員の定期健康診断を、5月に実施した。
- 職員の検便を月1回専門業者に依頼し「赤痢菌、サルモネラ菌、O－157」の検査を実施した。
- 子ども達の、帰着後・食事前の手洗い・消毒の指導をした。

5. 感染症等の対策

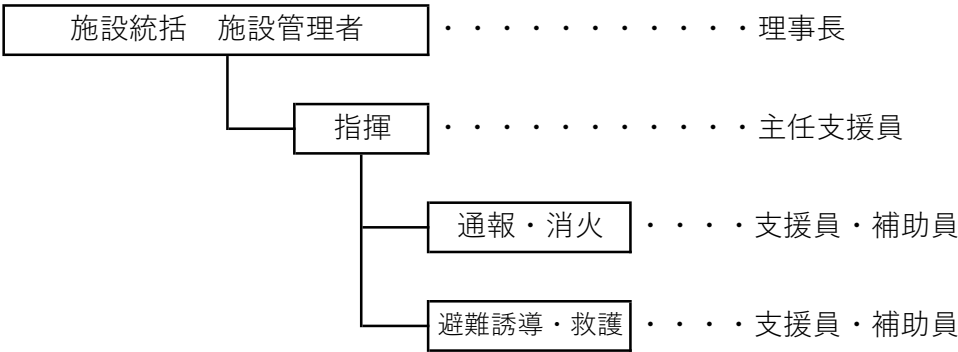
- 室内では常時換気をし、ストリーマー空気清浄機を使用した。
- 児童の「健康カード」を作成し、受け入れ時、昼食前、検温を行い健康状態の把握に努めた。
- 体調不良の児童は、保護者に連絡して早めのお迎えをお願いした。
- インフルエンザやコロナなどの感染症の流行は見られなかった。

6. 非常災害危険防止の実施状況

- 年に10回、避難訓練を実施。11月に全職員参加の消火訓練を行った。
- 隣接する保育園の避難訓練にも参加し、非常階段を使った避難の仕方、又

お	おさない。
か	かけない。
し	しゃべらない。
も	もどらない。

- の避難訓練の基本を学び、防災意識を常に持てるように心掛けた。
- 避難訓練中の私語多多く真剣に取り組めない時もあった為、避難訓練と命の大切さを伝えた。
- 非常災害に対する職員配置（第一・第二 合同）



7. 子どもや保護者等からの要望・苦情等

- 保護者に児童の問題点を報告したところ、その後事実とのずれがあった。
対応・・・けんか等の問題点を保護者に報告する際は、事前に十分な聞き取りを行い、実情を把握した上で報告する。
- 上級生の暴言が怖いと言っている。
対応・・・暴言を吐く児童に、暴言を吐かれた児童は心が傷ついたり、直接言われなくても側で聞いている児童は怖いと感じる事等を言い聞かせると共に、全児童にも話をすることで、乱暴な言葉遣いが全体的には減少してきた。

第一学童クラブ

様式第9号

年間行事実績	
月	行 事 名
令和7年4月	・歓迎会22人 ・お誕生会13人 ・ECC英語教室7人 ・鯉のぼり工作7人
令和7年5月	・ECC英語教室 15人、 9人 ・いむら体育教室 15人 ・お誕生会 15人 ・段ボール遊び 15人
令和7年6月	・ECC英語教室 15人、 10人 ・いむら体育教室 12人 ・メッセージカード作り 12人 ・お誕生会 10人
令和7年7月	・いむら体育教室 12人 ・ECC英語教室 13人、 14人 ・お誕生会 12人 避難訓練 7人
令和7年8月	・お誕生会 14人 ・東消防署見学 12人 ・アレンジおやつ 22人 ・九十九島ビジターセンター見学 10人 ・ECC英語教室 10人 ・スライム作り 20人 ・避難訓練 9人 ・駄菓子屋さんごっこ 22人
令和7年9月	・ECC英語教室 14人、 8人 ・いむら体育教室 13人 ・お誕生会 13人
令和7年10月	・ECC英語教室 14人 ・いむら体育教室 11人 ・お誕生会 14人 ・秋の工作 6人
令和7年11月	・ECC英語教室 12人、 10人 ・いむら体育教室 5人 ・お誕生会 10人 ・秋の遠足 13人
令和7年12月	・ECC英語教室 5人、 8人 ・いむら体育教室 12人 ・お誕生会 8人 ・工作(クリスマスツリー) 16人 ・お楽しみ会 18人 避難訓練 9人
令和8年1月	・ECC英語教室 7人、 8人 9人 いむら体育教室 9人 ・お誕生会 9人 ・節分ごっこ 8人 ・不審者訓練 11人
令和8年2月	・大根掘り 14人 ECC英語教室 5人、 7人 お誕生会 7人 ・避難訓練 14人 いむら体育教室 11人 ひな祭り工作 11人
令和8年3月	・ECC英語教室 11人、 5人 ・いむら体育教室 8人 ・お楽しみ会 5人

第二学童クラブ

様式第9号

年 間 行 事 実 績	
月	行 事 名
令和7年4月	・歓迎会 20人 ・お誕生会 15人 ・ECC英語教室 6人 ・鯉のぼり工作 9人
令和7年5月	・ECC英語教室 11人、9人 ・いむら体育教室 11人 ・お誕生会 11人 ・段ボール遊び 11人
令和7年6月	・ECC英語教室 13人、9人 ・いむら体育教室 11人 ・メッセージカード作り 11人 ・お誕生会 9人
令和7年7月	・いむら体育教室 11人 ・ECC英語教室 12人、15人 ・お誕生会 12人 ・避難訓練 3人 ・福井洞窟ミュージアム見学 3人
令和7年8月	・お誕生会 12人 ・東消防署見学 16人 ・アレンジおやつ 21人 ・九十九島ビジターセンター見学 21人 ・ECC英語教室 10人 ・スライム作り 19人 ・避難訓練 10人 ・駄菓子屋さんごっこ 20人
令和7年9月	・ECC英語教室 11人、15人 ・いむら体育教室 15人 ・お誕生会 15人
令和7年10月	・ECC英語教室 10人 ・いむら体育教室 11人 ・お誕生会 10人 ・秋の工作 6人
令和7年11月	・ECC英語教室 7人、5人 ・いむら体育教室 7人 ・お誕生会 5人 ・秋の遠足 12人
令和7年12月	・ECC英語教室 5人、5人 ・いむら体育教室 11人 ・お誕生会 5人 ・工作(クリスマスツリー) 10人 ・お楽しみ会 11人 ・避難訓練 9人
令和8年1月	・ECC英語教室 11人、6人 7人 いむら体育教室 3人 ・お誕生会 3人 ・節分ごっこ 6人 ・不審者訓練 7人
令和8年2月	・大根掘り 5人 ECC英語教室 4人、5人 お誕生会 5人 ・避難訓練 8人 いむら体育教室 4人 ひな祭り工作 4人
令和8年3月	・ECC英語教室 3人、5人 ・いむら体育教室 4人 ・お楽しみ会 15人

令和7年度 学童クラブぽーしゃな 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が施設スペースとの関係で適切であるか	○			施設スペース、配置数は、適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	階段があり、また スロープが無い為、車椅子等の対応ができていない。
業務改善	4	業務改善を進めるため目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			職員会議を毎月行い、業務改善に繋がる意見を出し合い、対応している。
	5	保護者等向けアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			親子参加の行事ごとに、アンケートを実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評議結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが、苦情対応やアンケート結果等を業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県や市主催の研修を、職員のスキルに合わせて受けている。
適切な支援の提供	9	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、学童クラブの計画を作成しているか		○		長期休暇中は、「なかよし通信」やホームページで、計画事項等を伝えている。 夏休みの社会科見学は、学年に応じて計画を立てている。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて学童クラブの計画を作成しているか	○			
	12	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			各学校への送迎があるので、職員間で必ず、確認している。 また、支援の振り返り等は口頭で行い、問題点や苦情等の共有すべき事項は記録し、全職員確認している。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		

関係機関や保護者との連携	15	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○		各学校とは送迎があるので、下校時間の変更などは、FAXや電話で連絡をとっている。
	16	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		針尾・ルンビニ保育園に関しては情報共有しているが、その他の保育園については、個人情報の問題もあり難しい点もある。
	17	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	発達障害児に関わる研修は、全て受講し、レポートにまとめ、職員会議で報告している。
	18	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		小さな事でも、できるだけ保護者とコミュニケーションをとる様に心掛けている。
保護者への説明責任等	19	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項説明会を、新規入所の保護者に対して行っている。
	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育ての悩み等の相談は少ないが、できるだけ声を掛け、相談しやすい雰囲気をつくっている。
	21	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は、速やかに事実を確認し、対応するように心がけている。
	22	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、なかよし通信を発行し、ホームページを更新している。
	23	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関しては、全職員 適切に扱った。
	24	学童クラブの行事に地域住民を招待する等地域に開かれた運営を図っているか		○	地域との交流は、今後検討していきたいと思う。
非常時等の対応	25	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		避難訓練は、地震・不審者対応も含め、行っている。
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	27	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		今年度は研修が無かったので、職員会議で議題にし、話し合った。
	28	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーに関しては、保護者に聞き取りをして職員間で情報を共有し対応している。
	29	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリ・ハット事例は、伝達ノートを利用して情報共有している。